

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

79回目の終戦の日 反戦平和誓う 9条まもって大軍拡やめよ 平和でジェンダー平等の日本へ



六ヶ所村 使用済み核燃料再処理工場

日本原燃が、今年9月末を目標としていた使用済み核燃料の再処理工場（青森県六ヶ所村）の完成を2026年度末ごろに延期すると報道されました。こうし

六ヶ所村・使用済み核燃料の「再処理工場完成」また延期 核燃料サイクルは破綻

この六ヶ所村「再処理工場」は、原発の使用済み核燃料からウランやプルトニウムを取り出して再利用するということ、国が推進する「核燃料サイクル」の中核施設で、1997年に完成予定でしたが、試運転中のトラブルも相次ぎ、提出書類の不備も度々指摘されるなどして、完成の延期が繰り返されてきました。東京電力福島原発事故後の新規規制基準に適合しているとして、2020年7月に規制委員会の審査に合格

したものの、耐震評価のものと異なる地盤モデルの作り直しが必要として完成に至っていない中で、再度の延期です。「核燃料サイクル」は計画から30年経つてもめどが立たない、まさに「夢の計画」です。混合燃料を使用予定だった「高速増殖炉・もんじゅ」は廃炉となつています。このまま原発を稼働させていけば、使用済み核燃料は増え続け、中間貯蔵施設のめども立たなければ、それぞれ原発の敷地内での保管は増え続け、長期化するばかりです。「危険な原発動かすな」の声を、この松江から広げていきましょう。



壇上左から、舟木市議、尾村県議、樋野市議予定候補
左から、佐野市議予定候補、むらほ衆院予定候補、たちばな市議

日本による侵略戦争と植民地支配の終結から79年を迎えた8月15日、日本共産党の、むらほ根1区候補、えりこ衆院島党の、むらほ尾村利成県議、舟木健治、たちばなふみ両市議、樋野伸一、佐野みどり両市議予定候補が市内で「不戦の誓い」の決意を述べました。むらほ予定候補は「日本共産党は、反戦平和を貫いた歴史を胸に刻み、9条を守り抜き、大軍拡をやめさせるために全力をあげます」と訴えました。尾村県議は「カネの力で政治をゆがめる自民党への怒りが岸田首相を退陣に追い込んだ。自民党内での政権のたらいまわしではなく、解散・総選挙で国民に信を問うべき」と強調し「憲法を守り生かす政治をつくりましょう」と呼びかけました。舟木市議は「教え子を二度と戦場に送らない」をスローガンに自身が教職員組合で活動してきたとして岸田政権の戦争する国づくりをやめさせようと訴えました。たちばな市議は「教育予算

松江市議会9月定例会の日程

月	日	曜	会議名
9	3	火	本会議・決算特別委員会
	9	月	一般質問（会派代表）
	10	火	一般質問（個人質問）
	11	水	一般質問（個人質問）、議案委員会付託
	13	金	決算特別委員会（総括質疑、分担、委託）
	17	火	総務委員会、予算・決算分科会 教育民生委員会、予算・決算分科会
	18	水	総務委員会、予算・決算分科会 教育民生委員会、予算・決算分科会 建設環境委員会（現地視察）
	19	木	経済委員会、予算・決算分科会 建設環境委員会、予算・決算分科会
	20	金	経済委員会、予算・決算分科会 建設環境委員会、予算・決算分科会
	26	木	決算特別委員会（報告、討論、採決） 予算委員会（報告、討論、採決）
10	1	火	本会議（委員長報告、討論・採決）

松江市議会9月定例会は、9月3日から10月1日の日程で開催されます。一般質問は9月9日（月）から11日の3日間です。ぜひ傍聴にお出かけください。山陰ケーブルビジョンのテレビやYouTube公式チャンネルで中継もあります。ぜひらんください。

約4兆円、軍事費7・9兆円と約2倍。戦争の反省は政治に活かされているだろうか。教育や、暮らし、福祉にお金をかける、憲法にかかげられた人権、平和、ジェンダー平等を実現する政治へ一緒に変えていきましょう」と呼びかけました。樋野氏は自身の祖父が戦死し父は15才で家を守ることとなり苦労して早くに亡くなったとして「戦争の影響は自身の問題でもある。戦争も核兵器もない世の中をつくりたい」と決意を述べました。佐野氏は「42年間看護師として働いてきた。赤十字出身として、二度と従軍看護師が必要となる日がないよう反戦の思いを新たにしたい。ご一緒



市内各地で、昼休みや 朝宣伝に取り組む
たちばなふみ市議、樋野伸一予定候補、佐野みどり予定候補

に命をまもる政治を」と訴えました。